

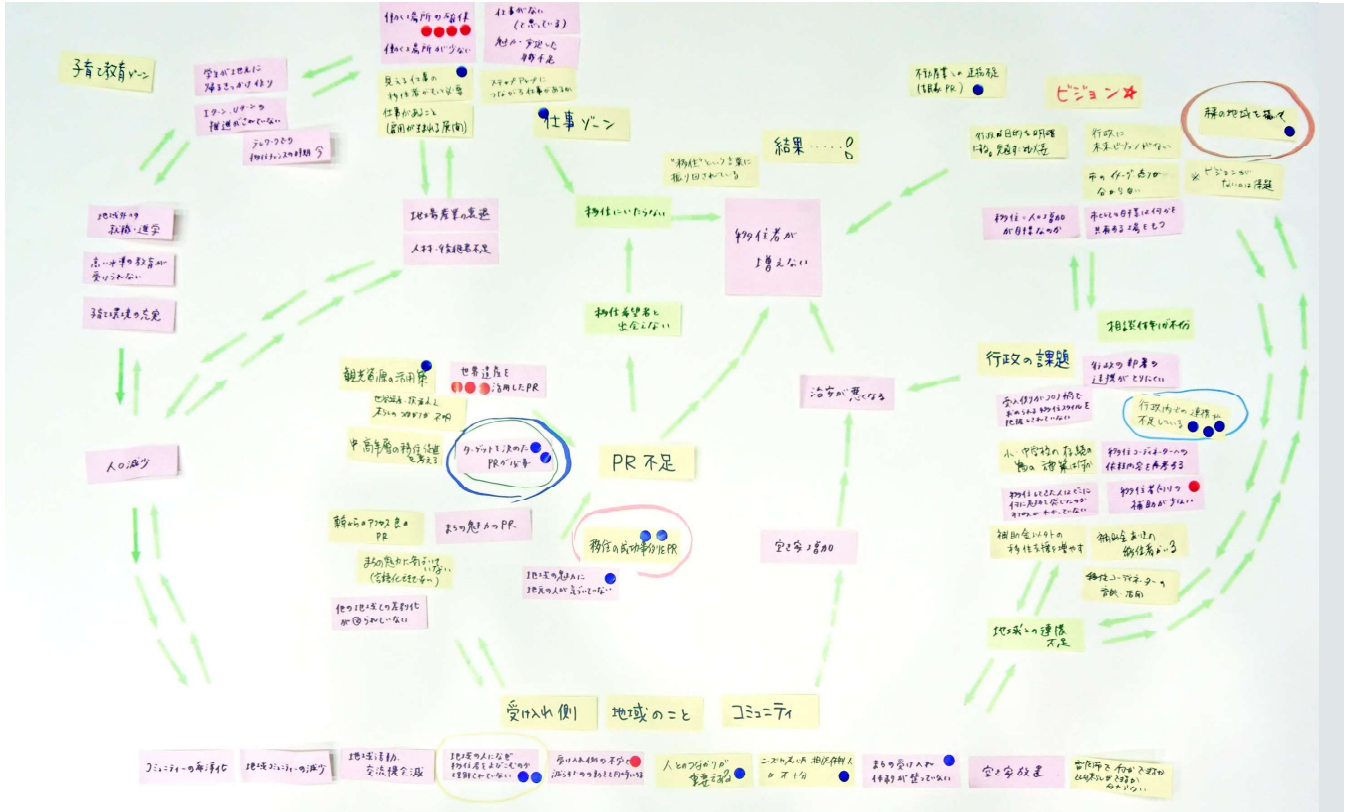
移住の促進 ～受け入れ体制（移住者コミュニティー等）～

自治体名

富岡市

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのかを、「問い」のかたちにとめました。

1 移住後の地域の人とのコミュニケーション

そこで暮らす地域の人と移住者に関わり、年代をこえた交流の機会を持ち、新たな視点を知るために、何が可能か？

2 移住成功事例のPR不足

移住を受け入れたい行政とすでに移住した移住経験者が、移住の成功事例を発信・PRし、不安を解消することで、移住者の夢をかなえるために、何が可能か？

3 市の魅力の言語化ができていない

様々な目的で移住希望をする人に対して行政が、市の魅力を言語化してPRを強化することで、移住者の希望をかなえるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>移住して夢が叶うまち富岡</p>	<p>夢を実現したい人（市内外問わず）や市民が市内の空き店舗や空きスペースを利用する。例えば、安く住める家があったり、手続きのサポートをしてくれる地域の人がいったり、サポートを中心としたコミュニティづくり。市内で映画館を運営したい人や団体をサポートしたり、区長や地域の役員に向けた移住セミナーも行う。</p>	<p>本気で「ゆるい」に取り組む！</p>	<p>地域の人と協力しあい、継続的にオンラインで交流を生み出す。SNS+オンラインを活用して、市民が富岡のことをもっと好きになり、PRしたくなるような、行政と移住者の交流の場をつくる。</p>
<p>妙義ふるさと美術館を活用した移住促進</p>	<p>妙義ふるさと美術館で富岡市民や、富岡妙義に興味がある人が集まり、富岡写真展、富岡妙義マルシェを開催する。アイデアとして、バックグラウンドおやつカフェ、上信電鉄リアルすごろくの企画も。</p>	<p>みんなで作る浅香入ガイドブック</p>	<p>浅香入のおばあちゃんたちが元気なうちに、移住コンシェルジュが、浅香入のおばあちゃんや子どもたちに協力してもらいながら、移住者用の浅香入ガイドブックをつくる。地域の行事を知れたり、似顔絵イラストマップ、みんなの回覧板プロジェクトも企画する。</p>
		<p>富岡起業家移住者「焙煎」プロジェクト</p>	<p>カフェ経営や飲食経営を新しい土地でチャレンジするには、ある程度、腰をすててのチャレンジが必要。富岡で、先輩移住者と行政が強力タッグを組み、潜在型PR起業を支援する仕組み。2022年3月31日までに企画設計し、発表。2022年4月1日から小さな一歩として実装させる。レンタルカフェスペースやゲストハウスで、先輩移住者と熱意のこもった行政職員が、起業精神をもった移住希望者を対象に行う。</p>